

ナレオアイランダーズ

Na Lei o Islanders

演 奏 会

プログラム

1999年9月19日 江東区文化センター

ご挨拶

みなさま、本日はよくお出でくださいました。心よりお礼申し上げます。

あのナレオアイランダーズが帰ってまいりました。「そんなの知らない?」。でも、いいんです。とにかく復活したのです。もうとっくに消息不明、行方知れずだったあのバンドが!!!

今、なぜかハワイアンブーム。ハワイアングッズが売れ、アロハシャツが流行り、ウクレレが人気です。おかげさまで、おばちゃまがフラダンスを踊っても、おじさんがハワイアンミュージックを奏でて、若いミュージシャンから「流行遅れ」「時代錯誤」なんて言われないうような気がして、もう一度やってみようというオールドハワイアンが増えているのです。

本日は、蘇ったおじさんたち(ナイスミドル)の心の音楽をたっぷり聴いて忍耐力を養ってください。

バンドマスター M.Tomimoto記

バンド名の由来

ナレオは正式にはナ・レイ・オと呼びます。Naは英語のTheに当たる言葉。Leiはみなさんご存じのハワイ語ですね。Leiは花です。花で作った首飾りもLeiと呼んでますね。ナレオアイランドは島の花と言う意味になるのでしょうか。私たちのバンド名はここからきています。バンドのテーマはナレオハワイ。ハワイアンバンドのテーマ曲に一番使われているそうです。邦題で「島の歌」とつけられたこの曲はジャズバンドでも取り上げられる名曲です。さあ、このナレオハワイが聞こえたら、いよいよナレオアイランダーズの演奏が始まります。

演奏曲目の紹介

ナレオハワイ

バンドのオープニングテーマ曲です。ウクレレソロを取り入れました。

真珠貝の歌

ハワイアンとしてはかなりポピュラーな曲で、ピリーボーン楽団の演奏やドン・ホーの歌でも大ヒットした曲です。今日はスチールギターとウクレレソロ演奏でお楽しみください。

小さな竹の橋

本場ハワイではあまり演奏されないそうですが、日本ではハワイアンの代表曲のひとつです。脇野正男が歌います。

夕日に赤い帆

ハワイアンではありませんが、南国情緒と海の香りにあふれた名曲です。ハワイアンバンドが好んで取り上げます。コード奏法を取り入れたスチールギターとヴィブラフォン（ヴァイブ）が有名なメロディーを唄い奏でます。

月の夜は

コーラスに向いた曲でアマチュアバンドが好んで取り上げます。私たちは演奏でお届けします。和音を駆使したスチールギターとヴァイブのアドリブ演奏。そしてウクレレソロの二重奏も聴かせどころです。

幸せはここに

大橋節夫の作詞作曲。本人の歌もヒットしましたが、一般の方には石原裕次郎の歌でよく知られていると思います。バンドの大先輩の広瀬利が歌い上げます。

ハワイアンパラダイス

私たちが現役時代（学生時代）はこの曲をバンドテーマとしていました。バッキー白片がテーマとしていたことで、特にバッキーファンは好んでバンドテーマにしています。この曲を流しながらバンドメンバーの紹介をさせていただきます。

赤いレイ

やはり大橋節夫の作詞作曲。彼の処女作で、まだ10代の頃の作品。脇野正男の得意とする曲のひとつで、なによりも日本語の歌詞というところが得意な理由とか。

黒い瞳（ダークアイズ）

ロシア民謡の「黒い瞳」は、いろいろなジャンルで取り上げられる名曲で、ラテン、タンゴ、ジャズ、ムードミュージック、そしてハワイアンバンドもよく取り上げます。スチールギターのアドリブ、松崎一七のヴァイブソロが聴かせどころです。

ベサメムーチョ

ご存じラテンミュージックの名曲。トリオロスパンチョスの歌などで誰でも知っている曲です。スチールギター、ウクレレ、ヴァイブが交代でメロディーを受け持ちます。

珊瑚礁の彼方

ハワイアンの代表曲。ハワイアンのレコード・CDには必ず入っている名曲です。脇野正男が熱唱します。

ウクレレマーチメドレー（ハニーマーチ&ハワイアンマーチ）

最近のウクレレブームは、ウクレレが小さくて扱いやすい上に、伴奏したりメロディーを弾いたりできる（ウクレレソロ）点が見直されているからです。私たちも現役時代にはウクレレソロを好んで演奏していました。今日は大橋節夫作曲の二つのマーチを脇野正男と富本真澄のウクレレソロでお贈りします。

南国の夜

ハワイアンの定番として有名ですが、元はラテンの曲。最近は見直されてラテンでも取り上げられる機会が増えています。日本語の歌詞もすっかり定着して、まるで国産歌謡のようです。広瀬利と脇野正男がハーモニーを聴かせます。

素敵なあなた

ジャズのスタンダード。英語の歌詞の中で、一部ドイツ語で唄われる詩の部分から「バイミー」という名で呼ばれ親しまれています。スチール、ヴァイブのアドリブ演奏と、そしてここでもウクレレソロが使われます。

恋人よアロハ

日本では別れの言葉として有名な「アロハ」。本来「アロハ」は「こんにちは」にも使われる言葉です。感情を込めて相手に想いを伝える言葉で、意味はいろいろあるそうです。ハワイアン音楽の中でもコード進行のきれいな名曲中の名曲と言えるでしょう。今日の演奏のクロージングにふさわしく、「またお会いしましょう」の意味を込めて富本真澄のスチールギターが和音奏法を駆使して唄い上げます。

メンバーの紹介

卒業年度&年齢順

広瀬 利（ひろせとし） ギターとボーカル

40年前、甘い歌声で多くの女性を魅了させた面影が、還暦を過ぎた今でも見られるでしょうか。もし見られたら、あなたの観察力は異常です。とにかく、それは事実だったということをお認めいただければ、本人も満足です。名器「ギブソン」のギターが光ります。大手ゼネコンを退いた今、時間はたっぷりあります。ますます歌に磨きがかかれば再び女性を惑わすことでしょう。本日は精一杯歌います。もちろん救急車の用意もなしで。

松崎一七（まつざきかずな） ヴィブラフォン(ヴァイブ)

ヴィブラフォンの腕前は定評があります。当バンドを含めて3つのバンドで活躍中。引っ張りだこの人気は、楽器のテクニクだけではありません。音楽理論と人柄が人気の秘密。メンバーのアロハシャツは、この人のハワイ土産。お土産が期待できる限り、メンバーみんなが慕っていきます。もちろんヴァイブのテクニクにも期待しています。ヴァイブひと筋で、工場長という重責をいつ果たしているのか心配されています。

富本真澄（とみもとますみ） スチールギター、ウクレレソロ

いつの間にか、下水道ひと筋の仕事からコンピューター技師になってしまいました。

技師といっても「サ技師」と言われるほど、ミスをごまかすテクニックを身につけてしまい、本日もそれが見られるか、注目したいところです。8弦のスチールギターは独自開発のチューニング。世界で「俺だけ」の調弦法で、セブンス、メジャーセブン、ディミニッシュ、マイナー、メジャーコード等を多用します。和音の多用は、衰えたテクニックをカバーするためとも??。ウクレレソロも聴かせます。

脇野正男（わきのまさお）　ウクレレ（ウクレレソロ）、ボーカル
ウクレレテクニックは現役時代にも増して、磨きが掛かっています。アマチュアバンドで、ここまで弾けるウクレレミュージシャンは少ないでしょう。ボーカルの中心でもあります。声量の衰えは隠せず、これからの歌い込み次第で、往年の「歌声」を取り戻すことができるでしょう。コピー機メーカーの管理職。楽譜のコピーはむろん、プロミュージシャンの演奏コピーはお手の物。本日は思い切り声を出して歌います。むろん酸素ボンベなしで。

大沢常郎（おおさわつねろう）　ギター
大手住宅建設会社の設計部長さんも、ギターテクニックやアドリブソロは設計通りに行かず、昔日の栄光を知るのはバンドの一部メンバーのみ。それでも往年の片鱗が随所に見られます。練習日だけ借りるギター演奏なので、自前のギター（ギブソンを指定）を手に入れることを義務づけられています。家でも練習できる環境を整えば、プロ顔負けのテクニックがよみがえる日は近い。

海老原光一（えびはらこういち）　ベース
現役時代は練習に出てこないことで有名だったそうです。今は熱心に、心から楽しんで演奏しています。バンドマンは楽器演奏が巧みか、歌が上手くないと女性にはもてないのが通説。この通説をうち破り、何故かモテモテの学生時代をおくった不思議な人で、その面影は今もあるのでしょうか。一流アルミ会社の所長さんでも、演奏は製品のサッシのように、ピタッと締まらないのが悩みとか。再結成初日の練習で、現役時代の腕前に達成した唯一の人なのです。

石毛敏幸（いしげとしゆき）　ギター
現役時代はウクレレ奏者。今はリズムギターを担当します。本日のもう一つの演奏バンド、スマッシュアーズではベースを担当。エネルギーをどちらにかけるかによって今後のバンドでの処遇が決まります。ナレオ再結成に一番の尽力をしたにも関わらず、処遇などといわれてしまうのは、厳しい先輩後輩の戒律の中で、全員の後輩にあたるからだろうと思われれます。しかし、おかげで、こうしてみなさまに演奏をお聴かせできるようになったのです。なにかと話題に出る、あの大手ゼネコンの一級建築士が、こんなことしていいのか、とメンバーは心配しているところです。

これが本日のナレオアイランダーズの演奏曲目とメンバーです。